

令和6年度 運営計画

社会福祉法人 公生会
特別養護老人ホームとまとの里

■理念

親愛 多様な価値観をお持ちの入居者の皆様に対して、プライバシーの配慮はもとより、人としての尊厳と信頼を大切にし、自分たちの父親・母親に対する愛情をもって支援いたします。

実践 入居者の皆様の生活リズムを大切にし、食事・入浴・排泄・睡眠などゆっくりした気分で楽しんでいただけるよう、ハートフルなサービスを提供いたします。

謙虚 入居者の皆様、地域の皆様から学ぶことを忘れることなく常に自己研磨に努め、“それは入居者様にとって、ご家族様にとって喜ばれることか”を物事の判断基準とし、“入居者の皆様のお陰で私たちの生活も成り立っている”という感謝の気持ちを持って介護サービスに努めます。

■令和6年度運営目標

- ①感染症や災害発生時の対応力の強化
⇒BCPに基づいた研修・訓練の実施
- ②介護報酬改定の方針に基づいた取組の推進
⇒医療機関との連携・認知症対応力・虐待防止への取り組み・重度化防止
- ③安定した経営基盤の強化
⇒加算算定に必要な準備の実施、コスト削減
- ④働きやすい職場作りの推進
⇒施設課題と生産性向上委員会の役割の明確化
- ⑤事業の多様化・多角化の推進
⇒実習生や職場体験の受け入れ、大分県災害派遣福祉チーム活動への協力、行政や県社協、県下の福祉施設、各種団体等との繋がりへの深化
- ⑥組織の整備、人材育成、職員定着の推進
⇒『厚生委員会』の整備とモチベーションアップのための評価制度の導入

■運営基本方針

◇地域交流と地域での役割の確立

- ①地域や地元からのボランティア等の受け入れ態勢の確立、又地域交流室開放の広報を行い、地域交流の場をつくる。
- ②大分市福祉避難所の協定を継続し、災害時等に必要な支援ができるよう設備を整える。
- ③地域と共同で避難訓練や消防訓練を行い、地域からの協力体制を確立する。

◇ユニットケアの確立とサービスの向上

- ①ユニットケアに取り組むべく、入所者ごとの生活パターンの把握とケアの見直しを繰り返し行う。
- ②ユニットケア推進委員会を中心とし、サービスの基本である接遇マナー（挨拶・笑顔・丁寧な言葉使い等）の向上を図る。
- ③ユニットリーダー研修、その他技術向上やケアの適切化などの研修に職員を派遣し、職員全体のスキルアップを図る。
- ④具体的なサービス内容を見直し、新たな加算の算定に繋げる

◇看取り介護・医療的ケアの推進

- ①配置医師との連携強化により入居者様・ご家族様が望まれるケアを提供できるように努める。
- ②看取り介護マニュアルを周知し、職員が不安なく看取り介護に取り組める体制づくりに努める。

◇苦情解決や環境改善に取り組み、入居者様から信頼される施設をつくる。

- ①「苦情受付担当窓口」を設け、入居者様・ご家族様からの苦情に速やかに対処し、解決を図る。
- ②「身体拘束廃止マニュアル」に基づき入居者様本人または他入居者様の生命または身体を保護するため、緊急やむをえない場合を除き、身体拘束その他入居者の行動を制限する行為を行わないことを職員に徹底する。
- ③ヒヤリハット、事故報告書の分析結果に基づいて立てられた予防策について定期的に検証し直し再発防止に努める。
- ④福祉サービス相談委員会を開催し、施設内で解決にいたらなかった問題に対して、第3者の協力を仰ぎ解決に取り組む流れを確立させる。